



西部教育局からのお役立ち情報

今月のトピック紹介版

2月号



組織で支える「絆づくり」と「居場所づくり」
次年度へ向けて
3学期にできることを考える

特別支援教育ほっと通信

- ・特別支援学級における引継ぎ（諸帳簿等）について
- ・「指導要録」の「指導に関する記録」の様式について

【西部地域開催】 鳥取県エキスパート認定教員による 公開授業の御案内

このページより
参加申し込みにアクセス!

【参加申し込み アクセス方法】

- ①教育センタートップページを開く
- ②「その他」の「エキスパート教員授業案内」をクリック!
- ③参観したい校種をクリック!
- ④一覧表に添付されている「ファクシミリ送信票」を開いて印刷
- ⑤必要事項を記入し、実施校の学校長宛てにファクシミリで直接送付

※公開授業ごとに実施日が異なるため、参加申し込みの締切日も異なりますので、御注意ください。
※3年目、6年目研修受講者が参観する場合は、その旨を記入してください。



組織で支える「絆づくり」と「居場所づくり」 次年度へ向けて3学期にできることを考える

西部教育局
お役立ち情報
令和7年2月号

3学期は、今年度の取組を見直し、次年度の取組を考えていく時期です。

4月から長欠の生徒は
どれくらい増えているのかな？

不登校の生徒は、どのような
関係機関とつながっているのかな？

昨年度と比べると
どう変化しているのかな？

自分の学級や学年の様子は
わかるけど、学校全体では
どうなっているのかな？



次年度へ向けて（取組例）

生徒指導提要も参考にしてください →



◎生徒指導事案の対応について

- ・「学校評価アンケート」などを参考にして、いじめ、不登校、問題行動等に対して適切な対応ができていたか振り返る。
- ・修正が必要な場合は具体的な改善策を考える。
(例)「誰が」「いつ」「何を」「どうする」、報告ルートの確認 など

◎校内の「いじめ防止基本方針」について

- ・いじめの定義や重大事態に対する対応について見直す。
- ・改善点を明確にし、加筆・修正を行う。
- ・「学校評価アンケート」や「生活アンケート」などを把握し、児童生徒の実態を全教職員で共有する。 など

◎不登校対策につながる 発達支持的生徒指導について

- ・学習のルールや集団生活のマナーについて、児童生徒とともに考える場や時間を計画する。
(例)学級活動などの年間指導計画に位置付け
- ・児童生徒が「わかった」「できた」という達成感を実感できる授業づくりに向けた取組を明確化する。
(例)校内研究を通して成果と課題を分析
- ・児童生徒の自発的・自治的な活動を取り入れた取組を計画・立案する。
(例)委員会活動や行事等 など

今年度の生徒指導の成果と課題を話し合う際に、毎月状況を報告している月例報告のデータを活用してみませんか？

月例報告から分かること

具体的な活用例

★不登校児童生徒の分析をする(昨年との比較)

【例：中学校の不登校の数から】

令和5年度 合計10名 → 3名の増となっているが
令和6年度 合計13名 → 内訳を見てみると・・・

〈内訳〉(継続、新規に着目)

R5年度	R6年度	新規は5名
・3年生2名	→ (卒業)	
・2年生4名	→ 3年生3名 (継続3名 / 新規なし)	
・1年生4名	→ 2年生6名 (継続3名 / 新規3名)	
(6年生3名)	→ 1年生4名 (継続2名 / 新規2名)	

11名 → 継続は8名

Point! 学年や個人について経年での変化を追う

令和5年度に不登校であった生徒のうち、3人は復帰もしくは欠席が29日以下になっている。何がきっかけになったのだろう。

Point! 月ごとの状況を確認し、その時の対応や支援を振り返る

新規の不登校生徒が5人いるけど、休み始めの対応はどうだったのだろう。未然防止のために何ができるかな。生徒指導提要で確認してみよう。

今年度の生徒指導のまとめとして、情報を共有しましょう。月ごとや経年で比較し、学校や学年の傾向の把握や対応の振り返りを行うことで、次年度へ向けての具体的な取組を考えていきましょう。



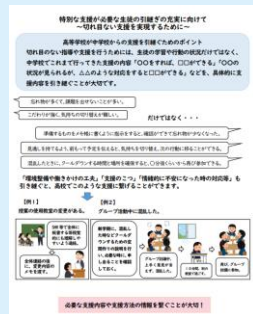
1年間の成長を確認するとともに、次に目指す姿を明確にしましょう。
また、新年度のスタートで子どもたちが困らないように、**確実な引継ぎ**をしましょう。

- 個人ファイルを作成し、資料等を整理して綴りましょう。(インデックスを活用し業務の効率化を図りましょう。)
- 「いつ」「だれと」「何を」「どのように」を確認しながら、引継ぎの準備をしましょう。個別の教育支援計画、個別の指導計画、個人ファイル等を十分に活用しながら、引継ぎを行いましょう。
- 個人情報の取扱い及び保管場所に留意しましょう。
- 個別の教育支援計画は、指導要録の指導に関する記録の保存期間を参考に、5年間保存が望ましいと考えられます。保存方法については、学校の設置者である当該市町村(学校組合)教育委員会に確認しておきましょう。

大きく学びの場等が変化する場合(進学や就職時)は、「困難さ」だけではなく、「効果的な環境整備」や「支援のこつ」など、具体的に支援内容を引き継ぐことが大切です。



中学校から高等学校への引継ぎについては、鳥取県教育委員会高等学校課が作成したリーフレット(高等学校課HPに掲載)を御確認ください。



引き継ぎ内容の一例です。この他、**就学支援に関することや諸帳簿等**の引継ぎも行いましょう。詳しくは「特別支援教育の手引 令和4年3月改訂(令和6年7月一部改訂) 鳥取県教育委員会」をご覧ください。

【学習指導】

学習指導に関する資料

- 教室環境
- 各教科等で使用した教材・教具(プリント類、指示書・手順書 等)
- 授業や生活、行事等の様子(写真、作品の写し 等)
- その他学習の参考となるもの(写真・ビデオ 等)
- 授業研究会の指導案や研究会記録

□ 個別の教育支援計画の評価・見直し

□ 通知表の作成

通知表は、学習したことの羅列やエピソード記録ではなく、児童生徒の学習への取組の様子、個人目標に対する評価や変容の様子等を簡潔に記載することがポイントです。

個別の指導計画の評価・見直し

- 児童生徒の実態の加筆 □ 次年度の「個別の指導計画」(案)の作成
- 指導内容、指導における工夫、児童生徒の変容等についての評価と見直し
- 目標及び指導内容等の達成状況の記録

交流学級担任との連携

- 年間の指導等についての反省 □ 次年度への引継事項の確認

次年度の教育課程についての協議・編成

- 各教科/自立活動/各教科等を合わせた指導/交流及び共同学習 等



特別支援学級における諸帳簿等について

令和7年2月 鳥取県教育委員会事務局西部教育局

□指導要録（特に「指導に関する記録」について）

●A様式（数値で評価）かB様式（記述で評価）かを確認してください。

【A様式…小学校又は中学校に準ずる教育がほぼ可能である児童生徒の場合（下学年適用も含む）】

※下学年適用の場合→適用した学年の評価規準に基づいて評価し、評定を記載します。

→「総合所見及び指導上参考となる諸事項」の欄にその旨を記載します。

【B様式…知的障がいのある児童生徒が、知的障がい特別支援学校の教科等を取り入れて教育を行う場合】

※小中学校に準ずる教科と知的障がい特別支援学校の教科の両方を取り入れて教育を行う場合は、A様式とB様式の両方が必要となります。

〈参考〉「特別支援教育の手引」 令和4年3月改訂（令和6年7月一部改訂）鳥取県教育委員会 36～42ページ

□出席簿・児童生徒名簿

□就学支援関係の書類

●個人ファイルを作成し、過去の記録（経過）等が必要な時に確認できるようにしておきましょう。

□各市就学支援委員会または西部町村就学支援委員会の審査資料（個人調査票、診断書、観察票 ←いわゆる3点セット）

□保護者の入級承諾書

□各市就学支援委員会または西部町村就学支援委員会の審査結果

□各市町村（学校組合）教育委員会の就学決定通知

□校内就学支援委員会等の記録

※新就学児の就学決定通知は、申請した施設（園等）に届いています。当該教育委員会に確認し、写しを保存しておきましょう。

□個別の教育支援計画（必ず作成してください）

●学校生活だけでなく家庭生活や地域での生活を含め、長期的な視点で幼児期から学校卒業後までの一貫した支援を行うために作成します。

〈参考様式〉「特別支援教育の手引」 令和4年3月改訂（令和6年7月一部改訂）鳥取県教育委員会 63～72ページ

□各教科等の年間指導計画（必ず作成してください）

●児童生徒が履修している各教科、領域等のすべてのものを作成します。

※単元名だけの題材配当表とは異なります。

【小学校又は中学校に準ずる各教科等の場合】

- ・学習時期、単元名、目標、学習内容、評価規準等の欄を設けましょう。

【知的障がい特別支援学校の各教科等を選択する場合】

- ・学習時期、単元名、目標（付けたい力）、学習内容等の欄を設けましょう。
- ・自立活動の年間指導計画も必要です。
- ・「各教科等を合わせた指導」の形態（生活単元学習、作業学習など）を取り入れる場合も、その年間指導計画が必要となります。また、合わせた各教科等の目標に準拠した評価の観点による学習評価を行います。
- ・「各教科等を合わせた指導」を行う場合、授業時数を適切に定めることが大切です。関連する教科等を教科別に指導する場合の授業時数の合計と概ね一致するように計画する必要があります。
- ・自立活動や各教科等を合わせた指導については、1年間を見通した計画が年度当初に立てにくい場合があります。まずは、1学期分あるいは前期分の計画を立て実施し、児童生徒の実態に応じて残りの計画を立てていく方法も効果的です。また、指導内容等に変更があった場合は、軌跡がわかるように見え消して修正しましょう。

●各教科で採択されている教科書名を記載してください。

- ・適切に教科書を給与するために、児童生徒一人一人の「教科書給与リスト」等を別途作成しましょう。

〈参考様式〉「特別支援教育の手引」 令和4年3月改訂（令和6年7月一部改訂）鳥取県教育委員会 88～92ページ

□自立活動の個別の指導計画（必ず作成してください）

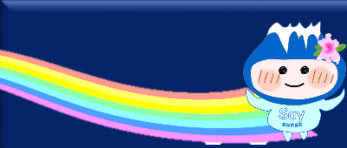
●自立活動の内容は、個々の児童生徒の実態に合わせて設定するため、個別の指導計画を作成します。

〈参考様式〉「特別支援教育の手引」 令和4年3月改訂（令和6年7月一部改訂）鳥取県教育委員会 73～76ページ

□各教科等の個別の指導計画（必ず作成してください）

●当該学年及び下学年の学習を行う場合、年間指導計画に支援方法と評価の欄を追加し、記入していく形式でも可能です。

〈参考様式〉「特別支援教育の手引」 令和4年3月改訂（令和6年7月一部改訂）鳥取県教育委員会 77～87ページ



特別支援教育ほっと通信



西部教育局
お役立ち情報
令和7年2月号

「指導要録」の「指導に関する記録」の様式について

子供たちの可能性を最大限に伸ばすためには、適切な引継ぎを行うことが重要です。特別支援学級における諸帳簿について、再度御確認ください。

鳥取県教育委員会では、**児童生徒の実態（教育課程）**に応じて適切なものを選択できるように、2種類の参考様式を示しています。（**A様式**・**B様式**と呼んでいます。）

A様式

様式2（指導に関する記録）

児童氏名		学校名		区分	学年	1	2	3	4	5	6			
				学級										
				整理番号										
各教科の学習の記録						特別の教科道徳								
教科	観点	学年	1	2	3	4	5	6	学年	学習状況及び道徳性に係る成長の様子				
国語	知識・技能								1					
	思考・判断・表現								2					
	主体的に学習に取り組む態度								3					
社会	知識・技能								4					
	思考・判断・表現								5					
	主体的に学習に取り組む態度								6					
算数	知識・技能													
	思考・判断・表現													
	主体的に学習に取り組む態度													
	評定													

※「数値」で評価する様式

B様式

様式2（指導に関する記録）

児童氏名		学校名		区分	学年	1	2	3	4	5	6
				学級							
				整理番号							
各教科・特別活動・自立活動の記録											
学年	1	2	3	4	5	6					
生											
活											
自											
立											
活											
活											

※「記述」で評価する様式

A様式：小学校又は中学校に準ずる教育がほぼ可能である児童生徒の場合（下学年適用も含む。）

B様式：知的障がい特別支援学校の教科を取り入れて教育を行う知的障がいのある児童生徒の場合

下学年適用の場合、前学年の各教科の目標・内容に替えて指導している事実を「総合所見及び指導上参考となる諸事項」の欄に記述します。



どちらの様式を使用するのは、**児童生徒の実態（教育課程）**によって決まります。

指導要録の様式等については、**各市町村（学校組合）教育委員会が定めています。**
御不明な点は、当該教育委員会にお問い合わせください。

小学校又は中学校に準ずる教科と知的障がい特別支援学校の教科の両方を取り入れて教育を行う場合は、**A様式とB様式の両方が必要です。**

指導要録の記載例については、「特別支援教育の手引 令和4年3月改訂 鳥取県教育委員会（令和6年7月一部改訂）」（36ページ～）を参考にしてください。



今年度最後!!

チャンス!



優れた教育実践を行っているエキスパート教員の授業を参観することは、教育技術を学ぶとてもよい機会です。教科等の指導技術や児童生徒がいいきと学ぶ環境づくり等、具体的な姿から指導のコツやポイントを学ぶことができます。ぜひ、御活用ください。

認定分野

「中学校 社会」

米子市立東山中学校
米子市車尾617番地

● 授業者 山下 欣浩 教諭

授業日

2月6日(木)

2月3日(月)
申し込み
締め切り

●開催時間【受付】 13:15~13:35
【公開授業】13:40~14:25 <<第2学年>>
【研究協議】14:40~15:40

●授業内容【単元名】北海道地方
(北方領土問題の解決に向けて)

- ・北方領土問題の解決に向けて、ロシアの少女の疑問に答えながら、北方領土をどのような島にすることが解決につながるかを考えさせる。
- ・ロイロノートアンケートを利用することで、全員の意見を見える化する。
- ・ロイロノート提出箱を回答共有することで、全員の意見や考えを見える化する。
- ・ロイロノートを使って4パターンの資料を同時に配信することで、思考の時間や話し合いの時間を確保し、個別最適な学びにつなげる。
- ・シンキングツールを使ってまとめさせることで、思考を整理し、より現実的な問題として考えることができる。また、ロイロ提出させることで、評価がしやすくなり、相互共有も行うことができる。

認定分野

「中学校 学級経営」

米子市立福生中学校
米子市上福原20番地

● 授業者 山田 幸代 教諭

授業日

2月13日(木)

2月6日(木)
申し込み
締め切り

●開催時間【受付】 13:25~13:40
【公開授業】13:45~14:35 <<第1学年>>
【研究協議】14:45~15:15

●授業内容【教科】社会科
【単元名】世界の諸地域 オセアニア州

- ・SDGsの視点から課題解決への提言を考える展開
- ・クリティカルシンキングで会話力を育てる

認定分野

「小学校 特別の教科 道徳」

米子市立住吉小学校
米子市旗ヶ崎5丁目17番1号

● 授業者 花井 康代 教諭

授業日

2月21日(金)

2月19日(水)
申し込み
締め切り

●開催時間【受付】 14:20~14:40
【公開授業】14:40~15:25 <<第4学年>>
【研究協議】15:40~16:50

●授業内容【教材名】広い心で理解し合う
「ブランコ乗りとピエロ」

- ・広い心で自分と異なる意見や立場を尊重することのよさについて考える。
- ・考え、議論する道徳授業
- ・多面的・多角的に考える道徳授業

【参加申し込み アクセス方法】

- ①教育センタートップページを開く
- ②「その他」の「エキスパート教員授業案内」をクリック!
- ③参観したい校種をクリック!
- ④一覧表に添付されている「ファクシミリ送信票」を開いて印刷
- ⑤必要事項を記入し、実施校の学校長宛てにファクシミリで直接送付

※公開授業ごとに実施日が異なるため、参加申し込みの締め切りも異なりますので、御注意ください。

※3年目、6年目研修受講者が参観する場合は、その旨を記入してください。

このページより
参加申し込みアクセス!